

令和6年度事業報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会は、内閣府の認定を受けた公益社団法人であり、「近畿地区において、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、もって一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与すること」を目的としています。

近畿運輸局をはじめ、関係機関・関係諸団体・関係業界各位並びに会員の皆様方のご支援のお陰をもちまして、令和6年度の公益目的事業等を実施することができましたので、その概要をご報告申し上げます。

I、公益目的事業

1、体験活動等(公益目的事業区分4)

(1) 船との出会い事業「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

特に若い世代の海への理解を深めるとともに教育現場の理解を得るため、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」と連携し、「公益財団法人日本海事センター補助事業」の助成金・補助金を受け、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験、船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学を行う体験型学習会「海の教室」を近畿運輸局との共催により実施しています。

乗船体験会及び海事産業関連施設見学会

月 日	実施概要	実施場所	参加者	参加数
2024/5/9	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立豊崎本庄小学校 3年生 53 名と先生 4 名	57 名
2024/7/15	【海の日体験学習】泉佐野の海を知ろう 2024、「キッズボート」自己操縦乗船体験会	大阪府 泉佐野市	泉佐野市在住の小学 4～6 年生 59 名及び引率 12 名	71 名
2024/7/15	海技大学「海技丸」体験乗船(船橋や機関室の見学) & 講演	兵庫県芦屋市	工業系高校生 20 名保護者 1 名・教諭 2 名	23 名
2024/7/26	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	岩出交通少年団団員 31 名 保護者 12 名	43 名

2024/10/3	勝浦漁港・くじらの博物館見学会	和歌山県 那智勝浦町・ 太地町	古座川町立高池小学校 1.2 年生 10 名及び先生 4 名	14 名	
2024/10/8	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立南市岡小学校 3 年 生 50 名と先生 5 名	55 名	
2024/10/15	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立市岡小学校2年生 42 名と先生 5 名	47 名	
2024/10/31	「紀の松島めぐり観光船」乗船体 験会 & くじらの博物館見学会	和歌山県 那智勝浦町・ 太地町	古座川町立明神小学校 1～ 6 年生 13 名及び先生 6 名	19 名	
2024/11/6	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立都島小学校 3 年生 51 名と先生 6 名	57 名	
2024/11/8	串本海中公園センターグラスボート 乗船体験会、海中展望塔等見学 会、檜野崎灯台見学会及びトルコ 記念館見学	和歌山県 串本町	串本町立古座小学校 3 年生 14 名及び先生 3 名	17 名	
2024/11/12	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立三先小学校 4 年生 64 名と先生 5 名	69 名	
2024/11/17	「海の教室 ～フェリー乗船体験 ～」みんなで学ぼう！海のこと船 のこと 乗船体験学習	和歌山県和歌 山市 徳島県徳島市	岩出交通少年団員、岩出市在 住の小学生 29 名とその保護 者 17 名	46 名	
2024/11/21	串本海中公園センターグラスボート 乗船体験会、ジオパークセンタ ー、潮岬灯台見学会	和歌山県 串本町	那智勝浦町立市野々小学校 1～6 年生 27 名及び先生 9 名	36 名	
2025/2/1	「やっぱり船度フェス in 天保山」 はたらく船(消防艇等)見学会等	大阪府大阪 市	一般参加者	約 300	名
実施回数 14 回				計	854 名

2、海の日キャンペーン・海の月間(公益目的事業区分8)

(1)「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業

国民の祝日「海の日」を迎えるに当たり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の月間」には、各関係機関のご支援並びに関係諸団体のご協力をいただきました。

大阪地区では「海の月間実行委員会」を開催し、各運輸支局・海事事務所所在地においても関係団体が連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海の恩恵に対する関心を高め、海や海事産業の重要性を認識してもらうことを目的とした催しが行われました。

当協会は、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報と連携し、近畿地区で行われる各種イベントについて令和 6 年「海の月間」行事案内を作成し当協会ホームページやフェイスブックに掲載するとともに、関係団体が開催する「海の日」・「海の月間」行事と連携して広報資料や海の日グ

ッズを配布するなど、国民の祝日「海の日」(海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日)の意義を理解してもらうための広報活動を行いました。

(2)「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式典・祝賀会

令和6年「海の日」にあたり、大阪では、7月23日(火)にホテルプリムローズ大阪において、近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典が開催されました。引き続き、海事産業の重要性を再認識するための啓発活動の一環として、各種関係団体のご協賛をいただき、当協会主催による「海の日祝賀会」を同ホテルにおいて開催し、受賞者を中心に同伴家族・行政・報道・海事関係者の皆様方とともに、国民の祝日「海の日」をお祝いすることにより、海事産業の業務に精励してこられた方々への感謝を表すとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着することを願い海事広報活動を行いました。

また、舞鶴・和歌山・勝浦の運輸支局・海事事務所においても、それぞれ関係者のご出席をいただき海事関係功労者表彰式等が行われました。

当協会は、「海の日」表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の推薦と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」候補者の推薦を行ないました。

海事関係功労者表彰の栄に輝かれた方々は、いずれも多年にわたり海事関係の業務に従事され功績のあった方々であり、受賞者の内訳は、近畿運輸局関係では、国土交通大臣表彰5名、近畿運輸局長表彰59名、海上保安関係では、国土交通大臣(感謝状)3名、海上保安庁長官(感謝状)20名、第五管区海上保安本部長(感謝状)7名、大阪海上保安監部長(感謝状)1名、第八管区海上保安本部長(感謝状)1名の方々でした。

3、表彰、コンクール(公益目的事業区分14)

(1)第61回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・船用工業・港湾・物流などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う中学生から「海の絵画」を募集することにより、海事に関する関心を高め、海事知識を深めてもらうことを目的に、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府教育委員会、大阪市教育局、(株)日本海事新聞社の後援を得て実施しました。

本年も近畿各地の中学校・絵画教室(約500校)及び関係先に募集チラシを配布し、船舶・港・海の生物・海や船で働く人・海の環境保全など海を自由に表現した絵画を募集したところ、23校・109点の応募がありました。

審査は、山中卓・平井洋子先生を中心に審査会を開催し、金賞1点(近畿運輸局長賞)・特別賞1点(大阪海上保安監部長賞)・銀賞2点(大阪府知事賞・大阪市長賞)・銅賞6点(近畿海事広報協会会長賞)・佳作25点(同)、計35点の受賞を決定し、受賞作品を当協会ホームページ・フェイスブック及び機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、金賞・特別賞・銀賞・銅賞・佳作の受賞者に対する賞状・賞品を応

募中学校等に送付しました。

金賞(近畿運輸局長賞)には、近畿大学附属和歌山中学校 3 年・佐伯 百菜さんの「おじいちゃんの船」、特別賞(大阪海上保安監部長賞)には、大阪市立東中学校 1 年・伊藤 華恩さんの「物語の海」、銀賞(大阪府知事賞)には、守口市立庭窪中学校 2 年・津川 佳穂さんの「今を残そう思い出に」、銀賞(大阪市長賞)には、大阪市立大和川中学校 2 年・石田 千尋さんの「6年前」が受賞しました。

また、2016 年度より全国中学生絵画コンクール(主催:公益財団法人日本海事広報協会)と統合された、第 52 回「我ら海の子展」(主催:一般財団法人サークルクラブ協会・公益社団法人日本海洋少年団連盟)中学生の部に、全ての応募作品を団体として応募しましたが、「我ら海の子展」の東京で行われた審査会において、残念ながら、当協会からの受賞、入選者はございませんでした。

(2)第 58 回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、次代を担う中学生に海や船に対する関心を深めてもらうため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、(株)日本海事新聞社の後援を得て、本年も近畿各地の中学校約 500 校及び関係先に募集チラシを配布し、海や船などを題材とする作文を募集したところ、11 校 109 点の応募がありました。

審査を高田文月先生(大阪文学学校講師)にお願いし、金賞(近畿運輸局長賞)1 点、銀賞 1 点(近畿海事広報協会長賞)、銅賞 1 点(同)、佳作 8 点(同)といたしました。

金賞は、大阪市立吹田市立古江台中学校 2 年・市場 大都さんの「僕の仲間」、が受賞しました。

受賞作品については、当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、当協会ホームページ及びフェイスブックで公表し、受賞者に対する賞状・副賞を各中学校に送付しました。

(3)第 46 回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海・船・港・海運・造船等の海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、湖・川・魚などを含め広く海に関係するテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しました。

この事業は、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、(公財)関西・大阪 21 世紀協会、(株)海遊館、(一社)日本長距離フェリー協会、(一社)日本海事代理士会、(株)日本海事新聞社、(株)海事プレス社の後援のもと、(公財)海上保安協会大阪支部、(一社)大阪府港湾協会、(公社)大阪港振興協会、大阪写真組合、近畿旅客船協会の協賛と、大阪水上バス(株)、近江トラベル(株)、(株)サンスターライン、四国開発フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、太平洋フェリー(株)、南海フェリー(株)、阪九フェリー(株)、琵琶湖汽船(株)、(株)商船三井さんふらわあ、宮崎カーフェリー(株)、(株)名門大洋フェリーの各船社からの協力を得て実施しました。

本年もホームページでの広報や関係先への募集チラシの配布により、海と船をテーマとした写真を募集したところ、全国各地より 226 名、743 点の応募があり、塚田澄子先生(全日本写真連盟関西本部委員)を中心に後援団体の代表者を交えた審査員による審査会を開催し、推薦 1 点・特選 2 点・特別賞 2 点・準特選 6 点・入選 29 点、計 40 点の受賞を決定しました。

推薦(近畿運輸局長賞)は山本 健太郎さん(愛媛県)の「夢・希望・喜びを乗せて!」、特選(大阪府知事賞)は奥谷 裕さん(大阪府)の「出漁」、(大阪市長賞)は竹下 邦茂さん(大阪府)の「夕暮れの埠頭」、が受賞しました。

全ての受賞作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに当協会ホームページとフェイスブックで公表しました。

また、一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業である「ボートレース場等を活用した海事知識普及事業」の一環として、ボートレース場・ボートピア等において「第46回海の写真コンクール受賞作品展」を次のとおり開催しました。

1. 「住之江ボートレース場」

実施時期 令和6年10月1日(火)～11月15日(金)

入場者数 ファン入場者 114,674人(昨年79,514人)

2. 「びわこボートレース場」

実施時期 令和6年10月1日(火)～11月15日(金)

入場者数 ファン入場者 21,060人(昨年23,329人)

3. 「ボートピア梅田」

実施時期 令和6年10月1日(火)～11月15日(金)

入場者数 ファン入場者 167,950人(昨年167,184人)

4. 「ボートピア京都やわた」

実施時期 令和6年10月1日(火)～11月15日(金)

入場者数 ファン入場者 41,966人(昨年29,037人)

5. 「川の駅「はちけんや」 * 受賞作品の複製パネル展示

実施時期 令和6年10月1日(火)～11月15日(金)

来館者数 10月 6,467人(昨年7,134人(10月来館者数))

4. 上記の事業区分に該当しない事業(公益目的事業区分18)

(1) 海事知識の普及事業

一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行われているイベント会場において、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズなどの配布を行なうことにより、海事知識の普及事業を実施しました。

① 海の月間にあわせた「住之江ボートレース場」「びわこボートレース場」における海事知識の普及事業

場 所 「住之江ボートレース場」

イベント名 第50回住之江区民まつり

時 期 令和6年7月6日(土)7日(日)

期 間 2日間

対象者 来場するファミリー層

配布資料等 海事広報資料・グッズ等 400セット

場 所 「びわこボートレース場」

イベント名 少年少女ゴムボート大会(びわこファミリーカーニバル 2024)
時 期 令和 6 年 7 月 14 日(日)
期 間 1 日間
対象者 来場するファミリー層
配布資料等 海事広報資料・グッズ等 700 セット

- ②児童養護施設の入所者が参加する SST における海事知識普及(グッズの配布提供等)
社会福祉法人大阪児童福祉事業協会が日本財団の支援を受けて、大阪府下の児童福祉施設や里親入所児童が社会生活をしていく上で必要な知識や法律、社会常識などを学び、生活技能を体得することを目的とする「ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)」において、海の日ポスターを掲示、登壇し海の日説明を加え、広報グッズとして「海の日」A5 ノートなどの広報グッズの配布を行いました。

時 期 令和 6 年 7 月 21 日(日)
期 間 1 日間
対象者 大阪府下の児童福祉施設や里親入所中で、来春施設を出て就職する予定の児童及びそれに備えた児童(高校 2 年生、3 年生、特別支援学校生、職業能力開発校生)、里親委託児童、施設職員
配布資料等 海事広報資料・グッズ等 160 セット

- ③海事広報ブース出展による海事知識の普及事業

住之江ボートレース場での住之江フェスティバル 2024 の開催にあわせ、近畿運輸局様とともに「海事広報ブース」を出展し、「船長服の着用体験・記念写真撮影」、「記念写真の缶バッジ作成・配布」、「海事広報パネルの展示及び海事広報資料・グッズ等の配布」を実施しました。

場 所 「住之江ボートレース場」
時 期 令和 6 年 11 月 10 日(日)
期 間 1 日間
対象者 来場するファミリー層
配布資料等 海事広報資料・グッズ等 200 セット

- ④「海と船のパネル展」の実施による海事知識の普及事業

川の駅「はちけんや」において、ファミリー層を対象に子どもたちにも楽しく「海事」について学んでもらうため、水上で見られるいろんな船のデータパネルを実施し、海事知識普及資料・グッズの配布を行いました。

実施時期 令和 6 年 4 月 5 日(金)~令和 6 年 10 月 31 日(木)
実施場所 大阪府大阪市「川の駅「はちけんや」」
参加者数 来館者数 4 月:9,992 人 5 月:6,605 人 6 月:6,398 人 7 月:32,513 名
8 月:6,196 人 9 月 6,190 人 10 月 6,467 人

- ⑤出前講座等による海事知識の普及事業

近畿運輸局、近畿内航船員対策協議会とともに出前講座を実施、講師から「海運」の役割などの説明を実施し、あわせて、海事知識普及資料・グッズの配布を行いました。

実施時期 令和 6 年 11 月 19 日(火)
実施場所 守口市立樟風中学校

参加者数 中学2年生 18人

⑥その他

このほか、港湾におけるイベント等とも積極的に連携し、海事知識の普及のための広報宣伝活動に取り組みました。

(ア) 児童の海への興味と理解をより一層高める目的で実施される第48回マリンスクール(主催:(株)串本海中公園センター)の後援と広報グッズ配布を行いました。

令和6年8月6日(火)7日(水) 串本海中公園センター

内容 水族館のしくみの学習会、ウミガメの放流、海中生物観察

参加 和歌山県内小学5.6年生 20人

(イ) 海事思想の普及啓発と港湾の振興を図る目的で実施される貝塚市民向け「海上保安庁の巡視船による体験航海」(主催:貝塚港湾振興会)の後援と広報グッズ配布を行いました。

令和6年10月19日(土) 阪南港阪南4区新貝塚第2号岸壁

内容 海上保安庁から巡視艇「かつらぎ」の派遣を受け、関西国際空港周辺海域までの体験航海

参加 公募市民 大人76人 小人54人 関係者12人 計94人

(ウ) ボートピア梅田、ボートピア京都やわたにおいてもお送りした海事広報資料・グッズ等の活用をしていただきました。

Ⅱ、その他事業(相互扶助等の事業)

1、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

(1) 他団体との連携事業

昨年度に引き続き、海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないました。

1. 大阪港港湾功労者表彰式における被表彰者の推薦(今年度は該当者なし)
2. 海の日海上安全祈願祭(大阪船主会・(公財)海上保安協会大阪支部)共催
3. 令和6年度「海の日」記念行事(和歌山港振興協会花火大会)の協賛
4. 天神祭渡御行事保存の協賛
5. 港住吉神社夏祭実行委員会への協力
6. 第48回マリンスクール((株)串本海中公園センター)の後援
7. 第70回大阪地方海事団体硬式庭球大会(大阪地方海事団体硬式庭球大会運営委員会)の後援
8. 海上保安庁の巡視艇による体験航海(貝塚港湾振興会)の後援
9. 第32回大阪港カッターレースの協力(実行委員長)
10. 令和6年度「白浜第一小学校・第二小学校5.6年生への体験乗船、出前授業」(全日本海員組合大阪支部)の後援
11. 新年海上安全祈願祭(大阪船主会・(公財)海上保安協会大阪支部)の共催

(2)会議等

1. 令和6年5月21日(火) 於:大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和6年度第1回理事会
2. 令和6年5月27日(月) 於:大阪市 日本船舶職員養成協会近畿会議室
(一財)日本船舶職員養成協会近畿第13回評議員会
3. 令和6年5月31日(金) 於:大阪市 近畿運輸局
近畿若年内航船員確保推進協議会令和5年度協議会
4. 令和6年6月3日(月) 於:大阪市 大阪商工会議所
「第2回情報・通信部会」主催 大阪商工会議所
5. 令和6年6月18日(火) 於:大阪市 近畿運輸局
第61回中学生海の絵画コンクール審査会
6. 令和6年6月19日(火) 於:大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和6年度定時総会
7. 令和6年6月20日(木) 於:大阪市 近畿運輸局
第46回海の写真コンクール審査会
8. 令和6年6月26日(水) 於:大阪市 大阪港湾合同庁舎
令和6年度大阪地区海難防止強調運動推進連絡会議
9. 令和6年7月1日(月) 於:大阪市 大阪港湾局
第32回大阪港カッターレース実行委員会
10. 令和6年7月2日(火) 於:大阪市 近畿運輸局
岩城新近畿運輸局長挨拶(星野会長)
11. 令和6年7月3日(木) 於:大阪市 ホテルプリムローズ大阪
「海事関係功労者表彰式典・海の日祝賀会」打ち合わせ
12. 令和6年7月21日(日) 於:大阪市 シェラトン都ホテル
「ソーシャルスキルトレーニング」海の日説明 主催 社会福祉法人 大阪児童福祉事業協会
13. 令和6年7月22日(月) 於:大阪市 住吉大社
令和6年「海の日」海上安全祈願祭
14. 令和6年7月23日(火) 於:大阪市 ホテルプリムローズ大阪
令和6年海事関係功労者表彰式典・「海の日」祝賀会
15. 令和6年8月2日(水) 於:大阪市 大阪商工会議所
大阪観光コンテンツ造成支援プログラムキックオフセミナー 主催 大阪商工会議所
16. 令和6年8月7日(金) 於:大阪市 大阪商工会議所
「第3回情報・通信部会」主催 大阪商工会議所
17. 令和6年8月22日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
18. 令和6年9月19日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
19. 令和6年10月13日(日) 於:大阪市 大阪港(オズ岸壁)
大阪港カッターレース
20. 令和6年10月17日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
21. 令和6年10月23日(水) 於:大阪市 第一大阪港ビル
「世界のコンテナ港とターミナルオペレーターの現状 2024」発行記念講演会

22. 令和 6 年 10 月 29 日(火) 於:神戸市 ホテルオークラ神戸
阪神国際港湾株式会社設立10周年記念式典 星野会長出席
23. 令和 6 年 10 月 29 日(火) 於:大阪市 築港高野山釈迦院
第 49 回大阪港湾労働殉職者合同慰霊祭 星野会長参列
24. 令和 6 年 12 月 13 日(金) 於:大阪市 第一大阪港ビル
「内航海運・フェリー業界の現状と課題 2024 年度版」発行記念講演会
25. 令和 6 年 12 月 17 日(火) 於:東京都 海事センタービル
令和 6 年度全国海事広報協会事務局長会議
26. 令和 6 年 12 月 19 日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
27. 令和 6 年 12 月 20 日(金) 於:大阪市 第一大阪港ビル
「物流 2024 年問題を含めた物流環境変化と新たな輸送手段の可能性」
主催 大阪港振興協会
28. 令和 7 年 1 月 9 日(木) 於:大阪市 近畿運輸局
星野会長 近畿運輸局局長及び次長等へ新年挨拶
29. 令和 7 年 1 月 14 日(火) 於:大阪市 第一大阪港ビル
令和 7 年新年祝賀交歓会 大阪港振興倶楽部
30. 令和 7 年 1 月 20 日(月) 於:大阪市 住吉大社
令和 7 年新年海上安全祈願祭
31. 令和 7 年 1 月 28 日(火) 於:大阪市 大阪電気倶楽部
「2025 年新春講演会」主催 関西交通経済研究センター
32. 令和 7 年 2 月 20 日(木) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
33. 令和 7 年 2 月 26 日(水) 於:大阪市 徐園
令和 6 年度大阪海事運輸連絡会
34. 令和 7 年 3 月 5 日(水) 於:大阪市 近畿運輸局
令和 7 年大阪地区「海の月間実行委員会」
35. 令和 7 年 3 月 10 日(月) 於:大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部 令和 7 年度通常総会
36. 令和 7 年 3 月 17 日(月) 於:大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会 令和 6 年度理事会

(3)海事広報宣伝物等の発行・配布

海洋環境について理解を深め、海や海事産業に親しみを深めてもらうため、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成された冊子・パンフレットなどの海事知識普及資料や海の日グッズ等を各種イベント参加者に配布しました。

主な海事広報宣伝物等の発行・配布は次のとおりです。

1. 近畿海事広報協会たより(1 月・7 月の年 2 回発行)
2. 海上の友(毎月 1 回配布)
3. 海の日グッズ等(各種イベント等で作成・配布)
4. 2025 世界の帆船カレンダー(会員・関係者へ作成・配布)

Ⅲ、庶務事項

(1)総 会

令和 6 年 5 月 13 日(月) 於:大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 令和 5 年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 役員の一部改選に関する件

(普通会員総数 206 名中、書面による議決権行使 66 名、出席・代理人出席・委任含めた議決権行使 125 名で開催した。)

(2)理事会

① 令和 6 年 4 月 17 日(水)【書面による理事・監事全員の同意】

1. 令和 5 年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 令和 6 年度通常総会招集の承認に関する件

② 令和 6 年 5 月 13 日(月) 於:大阪市 ホテルプリムローズ大阪

1. 会長・副会長及び専務理事の選定に関する件
会長に星野公彦氏、副会長に堀正直氏、増子祐司氏を、専務理事に角谷敬二郎氏を選定
2. 顧問等委嘱の承認に関する件
顧問等である大阪府都市ボートレース企業団の管理市交代により、大阪府都市ボートレース企業団企業長瀧澤智子様を顧問に、大阪府都市ボートレース企業団事務局局長武田克彦様を参与に委嘱することを承認
3. 会員資格取得(入会)の承認に関する件
令和 6 年 4 月 1 日付けで入会届のあった大谷晃正様の入会を承認
4. 報告事項:代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

③ 令和 7 年 3 月 3 日(月) 於:大阪市 第一大阪港ビル 8 階会議室

1. 令和 7 年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認に関する件
2. 会員資格取得(入会)の承認に関する件
(株)日章電機工業所様(令和 6 年 10 月 10 日入会申込)を承認
3. 顧問等委嘱の承認に関する件
箕面市長 原田 亮様のご就任されたことによる顧問の委嘱を承認
(令和 6 年 10 月 9 日就任承諾)
4. 報告事項:代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

(3)監査

- 1.令和 6 年 4 月 8・9 日(月・火) 於:大阪市 当協会事務所
当協会監事による令和 5 年度事業並びに収支状況の監査

(4)その他

① 内閣府申請事項

1. 令和 6 年 5 月 24 日 変更届出書(役員改選による変更)
2. 令和 6 年 5 月 24 日 事業報告等に係る提出書(令和 5 年度)

3. 令和6年6月5日 変更届出書(役員の辞任)
4. 令和7年3月3日 事業計画書等に係る提出書(令和7年度)

② 大阪法務局法人登記事項

1. 令和6年5月20日 変更登記申請書(理事、代表理事、監事の変更)
2. 令和6年5月29日 変更登記申請書(理事の変更)

③ 内閣府公益認定等委員会事務局立入検査

- 1 令和6年12月12日 検査場所 当協会事務所
実施者 公益認定等委員会事務局 審査監督調査官

令和6年度 決算報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益社団法人 近畿海事広報協会

令和6年度 決算報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

(1) 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増 減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,274,730	3,854,875	-580,145
前払金	129,900	129,900	0
未収金	0	0	0
立替金	100,000	100,000	0
流動資産合計	3,504,630	4,084,775	-580,145
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業特別積立資産	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所契約敷金	362,550	362,550	0
固定資産合計	5,362,550	5,362,550	0
資産合計	8,867,180	9,447,325	-580,145
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	111,432	-111,432
前受金	110,000	110,000	0
預り金	60,914	76,016	-15,102
流動負債合計	170,914	297,448	-126,534
2. 固定負債			
	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	170,914	297,448	-126,534
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	8,696,266	9,149,877	-453,611
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
正味財産合計	8,696,266	9,149,877	-453,611
負債及び正味財産合計	8,867,180	9,447,325	-580,145

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(2) 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	120	90	30	
特定資産受取利息	120	90	30	
受取会費	8,328,790	8,289,340	39,450	
普通会员	8,078,790	8,039,340	39,450	
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員、賛助会員
事業収益	6,040,000	6,090,000	-50,000	
受託事業収益	4,560,000	4,610,000	-50,000	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	1,480,000	1,480,000	0	海の日祝賀会等
受取負担金	67,600	126,530	-58,930	
受取負担金	67,600	126,530	-58,930	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	50,960	47,886	3,074	
受取利息	3,112	38	3,074	
雑収益	47,848	47,848	0	日本海事広報協会等
経常収益計	14,487,470	14,553,846	-66,376	
(2) 経常費用				
事業費	12,565,515	12,071,293	494,222	
制作費	153,000	153,000	0	海の月間関係
イベント開催費	1,174,760	1,113,100	61,660	海の日祝賀会等
広報宣伝物費	1,887,143	1,069,006	818,137	海事広報資料作成・購入
表彰費	281,610	285,105	-3,495	各種コンクール関係
給料手当	2,800,000	2,800,000	0	
事務局嘱託料(給料手当)	1,320,000	1,320,000	0	
臨時雇賃金	792,000	809,750	-17,750	
福利厚生費	640,412	618,800	21,612	
会議費	65,506	67,134	-1,628	
旅費交通費	193,248	201,968	-8,720	通勤費を含む
通信運搬費	320,265	453,355	-133,090	
消耗品費	158,044	140,807	17,237	
印刷製本費	546,260	648,007	-101,747	
賃借料	1,038,410	1,127,560	-89,150	船賃・バス・借室料等
事務管理費(賃借料)	670,000	680,000	-10,000	借室料等
保険料	46,630	90,044	-43,414	
諸謝金	220,000	210,000	10,000	審査料等
支払負担金	38,500	42,000	-3,500	共催行事等
支払助成金	175,000	218,000	-43,000	各地区海の日月間行事等
雑費	44,727	23,657	21,070	

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
管理費	2,375,566	2,465,542	-89,976	
給料手当	700,000	700,000	0	
臨時雇賃金	248,500	265,500	-17,000	
福利厚生費	160,104	154,701	5,403	
会議費	514,401	522,115	-7,714	総会・理事会等
旅費交通費	27,642	27,512	130	通勤費等
通信運搬費	240,699	357,073	-116,374	
消耗品費	37,056	30,378	6,678	
印刷製本費	95,364	106,019	-10,655	
賃借料	142,120	140,120	2,000	借室料・共益費等
支払負担金	180,000	130,000	50,000	各種会費等
雑費	29,680	32,124	-2,444	
経常費用計	14,941,081	14,536,835	404,246	
当期経常増減額	-453,611	17,011	-470,622	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計				
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-453,611	17,011	-470,622	
一般正味財産期首残高	9,149,877	9,132,866	17,011	
一般正味財産期末残高	8,696,266	9,149,877	-453,611	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	8,696,266	9,149,877	-453,611	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(3) 正味財産増減計算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計									相互扶助等事業会計			法人会計	合 計
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小 計	団体連携	他・共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
特定資産運用益								120	120			0	0	120
特定資産受取利息								120	120			0		120
受取会費								4,289,395	4,289,395		1,211,818	1,211,818	2,827,577	8,328,790
普通会员								4,039,395	4,039,395		1,211,818	1,211,818	2,827,577	8,078,790
その他の会員								250,000	250,000			0		250,000
事業収益	1,950,000	200,000	1,360,000	0	0	1,270,000	1,260,000	0	6,040,000	0	0	0	0	6,040,000
受託事業収益	1,950,000	200,000				1,150,000	1,260,000		4,560,000			0		4,560,000
協賛金収益			1,360,000			120,000			1,480,000			0		1,480,000
受取負担金	67,600	0	0	0	0	0	0	0	67,600	0	0	0	0	67,600
受取負担金	67,600								67,600			0		67,600
雑収益								3,112	3,112	0	47,848	47,848	0	50,960
受取利息								3,112	3,112			0		3,112
雑収益									0	0	47,848	47,848		47,848
経常収益計	2,017,600	200,000	1,360,000	0	0	1,270,000	1,260,000	4,292,627	10,400,227	0	1,259,666	1,259,666	2,827,577	14,487,470
(2) 経常費用														
事業費	2,039,197	200,020	1,215,740	331,861	286,084	1,024,886	2,119,005	4,304,012	11,520,805	736,600	308,110	1,044,710		12,565,515
制作費		153,000							153,000			0		153,000
イベント開催費			1,134,760						1,134,760	40,000		40,000		1,174,760
広報宣伝物費	0						1,603,576		1,603,576	283,567		283,567		1,887,143
表彰費				62,000	25,000	194,610			281,610			0		281,610
給料手当								2,800,000	2,800,000			0		2,800,000
事務局嘱託料(給料手当)	1,320,000								1,320,000			0		1,320,000
臨時雇賃金	96,000	24,000	19,000	97,000	128,000	289,000	0	35,000	688,000	104,000		104,000		792,000
福利厚生費								640,412	640,412	0		0		640,412
会議費			1,620			12,420	48,870		62,910	2,596		2,596		65,506
旅費交通費	54,020	3,020				5,150	14,100	110,568	186,858	6,390		6,390		193,248
通信運搬費	6,237		31,980	33,701	19,954	71,879	41,122		204,873	115,392		115,392		320,265
消耗品費			0	440	0	9,382		148,222	158,044			0		158,044
印刷製本費	36,300		0	67,100	52,800	81,950			238,150		308,110	308,110		546,260
賃借料	406,080						63,850	568,480	1,038,410			0		1,038,410
事務管理費(賃借料)	50,000	20,000				300,000	300,000		670,000			0		670,000
保険料	42,382						4,248		46,630			0		46,630
諸謝金			30,000	70,000	60,000	60,000			220,000			0		220,000
支払負担金									0	38,500		38,500		38,500
支払助成金							30,000		30,000	145,000		145,000		175,000
雑費	28,178			0	330	495	13,239	1,330	43,572	1,155	0	1,155		44,727

科 目	公益目的事業会計									相互扶助等事業会計			法人会計	合 計
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小 計	団体連携	他・共通	小 計		
管理費													2,375,566	2,375,566
給料手当													700,000	700,000
臨時雇賃金													248,500	248,500
福利厚生費													160,104	160,104
会議費													514,401	514,401
旅費交通費													27,642	27,642
通信運搬費													240,699	240,699
消耗品費													37,056	37,056
印刷製本費													95,364	95,364
賃借料													142,120	142,120
支払負担金													180,000	180,000
雑費													29,680	29,680
経常費用計	2,039,197	200,020	1,215,740	331,861	286,084	1,024,886	2,119,005	4,304,012	11,520,805	736,600	308,110	1,044,710	2,375,566	14,941,081
当期経常増減額	-21,597	-20	144,260	-331,861	-286,084	245,114	-859,005	-11,385	-1,120,578	-736,600	951,556	214,956	452,011	-453,611
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
経常外収益計														
(2) 経常外費用														
経常外費用計														
当期経常外増減額														
他会計振替額								107,478	107,478		-107,478	-107,478		0
当期一般正味財産増減額	-21,597	-20	144,260	-331,861	-286,084	245,114	-859,005	96,093	-1,013,100	-736,600	844,078	107,478	452,011	-453,611
一般正味財産期首残高														9,149,877
一般正味財産期末残高														8,696,266
Ⅱ 指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額														
指定正味財産期首残高														
指定正味財産期末残高														
Ⅲ 正味財産期末残高														8,696,266

(注) 1、「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。
2、経常収益のうち、受取会費(普通会員)は、公益目的事業会計に50%、相互扶助等事業会計に15%、法人会計に35%を按分している。
3、管理費のうち、給料手当・福利厚生費・旅費交通費・消耗品費・賃借料の80%を公益目的事業に按分している。
4、他会計振替額は、相互扶助等事業会計・当期経常増減額(増額の場合のみ)の50%を公益目的事業会計に振り替えている。

(4) 財務諸表に対する注記

令和7年3月31日現在

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業特別積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
事業特別積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	
合計	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)

(5) 附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているので、省略した。

(6) 財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	49,855
	預金	普通預金 三井住友銀行	運転資金として	692,374
		普通預金 みずほ銀行	運転資金として	2,006,450
		当座預金 ゆうちょ銀行	運転資金として	526,051
	前払金		4月分借室料等 ¥101,850、4.5.6月分海 事新聞¥28,050	129,900
	未収金			0
	立替金		4月分借室料等(船災防 ¥60,000、小船工 ¥20,000、海保協 ¥20,000)	100,000
流動資産合計				3,504,630
(固定資産) 特定資産	事業特別積立資産	定期預金 三井住友銀行	事業用財産として管理し ているもの	5,000,000
その他固定資産	事務所契約敷金	大阪港振興(株)	敷金544,550円の約3分 の2を負担している	362,550
固定資産合計				5,362,550
資産合計				8,867,180
(流動負債)	未払金 前受金	社会保険料・通信費 事務局嘱託料	日本海事広報協会3月分	110,000
	預り金	雇用保険料 源泉所得税 社会保険料	従業員から預かったもの 従業員から預かったもの	6,482 54,432
流動負債合計				170,914
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				170,914
正味財産				8,696,266

(注)「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。